

# バプテスト教会における教会形成

2017年 12月29日(金)・30日(土)

**講師** 濱野 道雄 先生 (西南学院大学神学部教授)  
**場所** 東京バプテスト神学校 (茗荷谷キリスト教会礼拝堂)  
 東京都文京区大塚1-1-18 地下鉄丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩1分

講義内容

「私たちの教会は、なぜ、誰とどこで、何を、どのように宣教しているのか、これから宣教していくのか」を参加者の教会実情を踏まえながら、議論していきます。

- 講義1 夏期公開講座の振り返り  
「何故私の教会は宣教するのか」
- 講義2 各教会からの発表1・発表2・発表3
- 講義3 各教会からの発表4・発表5・発表6
- 講義4 各教会からの発表7・発表8・発表9
- 講義5 日本、そしてアジアにおけるこれからの宣教

参加費

- 本科生 …………… 12,500円
  - 聴講生 (および一般の方) ……… 15,000円
- \* 通信は +5,000円 (通信手数料) が必要です。  
 \* 卒業生、後援会会員、連盟加盟教会牧師、三連合役員は受講料が半額になります。  
 \* ご照会は東京バプテスト神学校事務局まで  
 TEL: 03-3947-5141 FAX: 03-3947-5145  
 E-mail: seminary@tbts.jp

## 神学校献金・後援会献金 (2017年度前期)

2017年度前期東京バプテスト神学校への献金は、後援会献金248,000円(前年度303,000円)、教会・集会献金1,453,476円(前年度1,490,232円)、神学校改修募金295,012円(前年度1,544,055円)でした。皆様の尊い献金を感謝します。

### 2017年度前期 教会献金 合計 1,036,050円

- 【東京地方連合】10教会・伝道所**  
 篠崎キリスト教会(5) 渋谷バプテスト教会(2)  
 花野井バプテスト教会 仙川キリスト教会  
 多摩みぎわ伝道所 大井バプテスト教会  
 大久保バプテスト教会 蓮根バプテスト教会  
 蓮根バプテスト教会 茗荷谷キリスト教会
- 【北関東地方連合】5教会**  
 ふじみ野バプテスト教会 新潟主の港キリスト教会  
 西川口キリスト教会 日本バプテスト前橋教会  
 飯能バプテスト教会
- 【神奈川地方連合】6教会**  
 横浜 JOYバプテスト教会 港南めぐみキリスト教会  
 青葉キリスト教会 川崎バプテスト教会  
 相模中央キリスト教会 大森野バプテスト教会

### 【その他】1教会 三沢バプテスト・キリスト教会

**連合別内訳**  
 東京 530,925円 北関東 162,625円  
 神奈川 337,500円 その他 5,000円

### 2017年度前期 後援会献金 (個人) 38名 41件 合計 248,000円

- 吉岐基子 稲山良二 越智満 奥谷恭子 奥谷由行 奥田厚子  
 下舞賢一 加山礼子 菊地正弘 高橋望 由美 三木暁 百代  
 山崎清美 山本弘夫 秋山信夫 純子 小勝琢生(3) 小松澤一枝  
 小柳隆司 森田敏夫 神山武 水口仁平 杉山初美 清水智子  
 西方泉 川勝高宏 川上鏡子 川平朝清 浅野邦夫 和子  
 鳥山美恵 鳥飼好男 辻真理子 鶴野博子 渡部富夫(2) 都丸利子  
 内藤淳一郎 柏いづみ 北島靖士 北野弘子 堀野浩嗣

### 2017年度前期 集会献金 9件 合計 417,426円

- 入学礼拝席上献金 東京地方連合南ブロック女性会 東京地方連合総会席上献金  
 東ブロック女性集会献金 東京地方連合北ブロック女性会  
 東京西ブロック女性会 夏期講座開会礼拝席上献金  
 東京地方連合教会教育委員会 東京連合東ブロック幹事会

**連合別内訳** 東京298,229円 北関東0円  
 神奈川0円 その他119,197円

### 東京バプテスト神学校の働きを支援するために あなたも「後援会」にご入会ください

1. 定期支援  
個人会員 年額1口 ¥5,000  
何口でも歓迎いたします
2. 自由献金支援  
支援額も、支援回数も  
ご自由にお決めください。

郵便振替口座  
00210-8-75658

東京バプテスト神学校後援会  
※後援会負担の振込用紙をご利用ください



## 東京バプテスト神学校ニュース Tokyo Baptist Theological Seminary News

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ [seminary@tbts.jp](mailto:seminary@tbts.jp)

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141  
 発行日: 2017年11月10日 発行者: 東京バプテスト神学校 坂元 幸子

### 今号のトピックス

- 巻頭言 ~ 新しい試みとしての教会共同受講 …………… p.1  
(東京バプテスト神学校 事務長 川口 通治)
- 後期入学者のご紹介 …………… p.2
- 新しい教師のご紹介 …………… p.3
- 冬期公開講座のご案内 …………… p.4
- 神学校献金・後援会献金 (2017年度前期)

## 巻頭言

### 新しい試みとしての教会共同受講

東京バプテスト神学校 事務長 川口 通治



2017年度後期は10月7日より始まり、多くの課目が開講されますが、その中で、皆様に特にご紹介したいのが、連続公開講座「信徒のための説教」です。

この授業はベテラン牧師を講師に(安藤栄二先生・浦和キリスト教会、内藤淳一郎先生・茗荷谷キリスト教会、高木康俊先生・蓮根バプテスト教会)、「教会の信徒がどのようにして説教すればよいのか」を15回にわたって学ぶものです。

従来、神学を学びたくとも、遠方の神学校に通学できない、あるいは通信教育ではつまらない等により受講を

ためらう方もおられましたが、今回の授業はその壁を取り払うものでした。受講生の一人は次のようなレポートを書いてくださいました。「私は日本キリスト教団の教会しか知らないが、ライブでつながっている各バプテスト教会の方々の話から、それぞれの教会の雰囲気や様子がうっすらと伝わってきて良かった。本ビデオ受講の仕組みは臨場感があって、大変よいと思った」

実際に共同受講を経験された教会の方々からは、次のようなメッセージが届いています。

「相模中央教会・川勝兄から～神学校

の授業を、茗荷谷教室ではなく、自分の教会で、教会の仲間と一緒に学ぶことができる、という新たな可能性を感じ感慨深く感じました。」  
 「上尾教会・秋山先生から～共同受講で先生とのやり取りも他の教会の受講者と一緒にできるので、これからの学びが楽しみです」。

この信徒のための説教はこれからでも受講可能ですので、ご照会ください(例えば12月から始まる講義7～15のみ受講等)。

また次年度は年間2回、このような企画を検討しています。前期は「開かれた教会のための管理学」(課目:教会管理)、後期は「教会信徒のための倫理学」(課目:キリスト教倫理)を予定しています。皆さんの教会も今後このような取り組みにご参加ください。



## 大内 真由美

所属教会：飯能バプテスト教会



「二人または三人が私の名によって集まるところには、わたしもその中にあるのである。」  
(マタイ 18:20)。

Hallelujah! 主の御名を賛美いたします。

2017年度後期より信徒リーダー訓練コースに入学いたしました。4月からライフスタイルの変化、今後のことを見通しての「今なら!」という思いなど、東京バプテスト神学校への入学は自分と神様の出来事だと思っていました。

しかし、この思いを口に出し始めたところ、教会の方々、そして入学式に集っていただいた方々、また SNS などにつながる全国の信仰の友からお祝いの言葉、祈りの言葉をいただきました。入学までの短期間の中だけでも自分だけで想像のできない学びの中に自分が放り込まれること、それが本当のたくさんの方に祈られているということを感じています。1人の歩みではなかったこと、また共に学べる方々と出会えることに深く感謝しつつ、歩んでいきたいと思えます。

## 岩崎 秀子

所属教会：  
常盤台バプテスト教会



2017年度後期入学することとなりました、岩崎秀子です。1年半、神学校聴講生として、『教会史』『教会学校論』等を学びました。神学の学びの時が与えられ、充実した日々を送らせていただきました。神学の面白さに惹かれ、その後もっと勉強したいという思いが強くなり、主のお導きにお委ねすることで、今回信徒リーダー養成コースへの入学という機会が与えられました。2017年度後期は『牧会学』の授業を受けることとなりました。一信徒としての立場から牧会というものはどういうものなのか、牧会の変遷、牧師としての働き、そして信徒としての役割、教会学校との関連…

## 豆生田 めぐみ

所属教会：  
横浜ニューライフ教会



子育てと介護が終了し、15年ぶりに地元町内会の組長当番を引き受けました。近所のお宅を一軒一軒 会費の徴収で伺いながら、この15年で玄関に人が訪れた時の人の人の反応が、昔と随分変わったのを感じました。人と人が顔を合わせて会話する機会は激減し、社会でも家庭内でも、個々人の孤立化があらちちらで取り沙汰されています。反面、世間が未来に心躍らせていた時代より、人の関心がより内側に向けて開かれ、真理を求める思いが強くなったとも感じます。

友人との会話で、クリスチャンの死生観・信仰等について訊ねられる機会が増えましたが、思いつくままに語った後で「聖書的にはあれでちゃんと正しかったのだろうか?」と不安になる事が度々あります。確固たる聖書の知識を身につけたいと思立ち、この春から神学校の聴講を始めて頂きました。

主が私を通して、命の道に至る福音を語って下さるよう祈りつつ、学びを進めて参りたいと思えます。

など、この1年半の学びを通して又新たな理解を得ることができまことを、楽しみにしています。そして学びの友との新たな出会いも楽しみにしています。よろしくおねがいたします。

\* 他に永井八千代姉(大宮教会)も新しく学びを始めておられます。



## 牧会学

### 中田 義直 先生



今年度より、「牧会学」を担当することになりました。この講座を受け持つのは初めてのことでので祈りと緊張をもって準備をしています。

私は、神学校を卒業して約30年、その間1年半ほどのブランクはありますが、25年以上、牧師として歩んできました。つまり、それだけの期間「牧会」という働きに関わってきたこととなります。この間、自分なりに牧会ということを考え、実践してきました。そして、今回、神学校から「牧会学」の担当を、との依頼を受けたことをきっかけとして、あらためて「牧会」を体系的、論理的に考えることになりました。そのような意味で、自分自身にとって良き学びのチャンスをいただいたと感謝しています。何より、教室(ライブ授業や通信の方々も含め)で受講生の方々と牧会を考えるというのは本当に貴重な時間です。

ところで、私たちクリスチャンは、クリスチャンであるという事実から牧会を受けた経験者であるということができるといでしょう。そして、バプテスト教会に属し、教会学校などで教会員同士の交わりに参加してことがあるならば、私たちは、何らかの形で牧会を行ったことのある、牧会経験者なのです。今回牧会学を担当するにあたって、私はバプテストのメンバーは皆、牧会の実践経験者であり、被牧会経験者であるということからスタートして「牧会」について受講生の方々と共に考察していきたいと思っています。そして、このように考えますのは、いくつかの牧会学や牧会に関する書物にふれるなかでその多くが、牧会を「牧師の仕事」と位置付けているからです。しかし、私たちバプテストは教会学校での「相互牧会」の大切さと素晴らしさを経験しています。

「牧会」とは何か、そして、バプテストにおける牧会の特徴は何かを考えるとともに、教会が抱えてきた牧会上の課題や問題点にも触れていきたいと思っています。牧会学の学びを覚え、講師、受講生のためにお祈りいただければ幸いです。

## 新約聖書神学概論

### 坂元 俊郎 先生



初めて新約聖書神学概論を教える坂元です。

宜しく願い申し上げます。

生まれ：鹿児島、好きなカラオケ：もう一度会いたい(八代亜紀)、好きな物：鹿児島市・天文館のこむらさきのラーメン、年齢：65歳、教会：湘南台バプテスト教会、好きな曲：「ナディア」と「ビッグブロック」(ジェフ・ベック)、好きな聖句：ロマ12章1~2節、バプテストマ：1975年・鳥飼バプテスト教会。

新約聖書をどう読むかは専門的になればなるほど、素人の私には手に負えないほどの専門性が問われます。牧師の私はアカデミックな学問はしていない素人であることを充分自戒しつつ、一緒に学べればと思います。テキストはエドゥワルド・シュヴァイツァー先生の本を選びました。先生が1980年に来日されたおりに、説教を伺う機会がありました。先生は高い神学的な専門性を持ちつつ、大変豊かな説教で、豊かな微笑みを混えてのお話をして下さいました。その暖かな言葉の語感を忘れることが出来ず、ずっと心に残っていたからです。厳密な釈義は不思議な神の奥義に、神の奥義は豊かな人格(ペルソナ)に、ペルソナは深い言葉(説教)に連続しているのだと思われました。終わらない神の神秘への招きは、人の一生の中でも究め尽くすことのできない、永遠の希望になると実感しました。時代は変わり、思想は変化し、戦争や差別が絶えず、変転極まりない時代の移ろいの中で、私たちが聖書の生き方を学ぶことは、本当に尊いだと思います。人は誰でも初歩から始まります。歩くこと、学ぶこと、食べること、すべて初歩から始まります。神学も初歩から始まります。自分なりに考え、自分なりに神学し続け、自分なりに教会形成に関わる働きを歩み出し、生涯聖書を学び続ける求道者として、それぞれが歩んで下さればと思います。ささやかな手伝いにすぎませんが、お手伝いできればと思っております。